

「ヨセフの施策」

創世記 47章

47章 アウトライン

- I. ヨセフ、兄たちを王に引き合わせる 1～6
- II. ヨセフ、父ヤコブを王の前に導く 7～12
- III. ヨセフ、知恵をもって国を治める 13～26
- IV. ヨセフ、ヤコブに約束する 27～31

I. ヨセフ、兄たちを王に引き合わせる

1～6節

ヨセフは、ファラオのところに来て、報告した。

「私の父と兄弟たち、また、その羊の群れ、牛の群れ、

そして、彼らの所有するものすべてが、カナンの地

から参りました。今、ゴシエンの地にあります。」

彼は、兄弟の中から五人を連れて来て
ファラオに引き合わせた。

ファラオは、ヨセフの兄弟たちに尋ねた。

「おまえたちの職業は何か。」

彼らは、ファラオに答えた。

「しもべどもは羊を飼う者で

私どもも、私どもの先祖もそうでございます。」

また、彼らは、ファラオに言った。

「私たちはこの地に寄留しようとして参りました。
カナンの地は飢饉が激しくて

しもべどもの羊のための牧草がございません。

どうか、しもべどもを

ファラオは、ヨセフに言った。

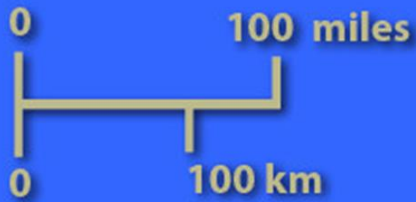
「おまえの父と兄弟たちが、おまえのところに来た。
エジプトの地はおまえの前にある。」

最も良い地に

おまえの父と兄弟たちを住まわせなさい。

彼らを**ゴシエンの地**に住まわせるがよい。

彼らの中に有能な者たちがいるのが分かったなら
その者たちを私の家畜の係長としなさい。」



地中海

カナン

ヘブロン

Dead
Sea

ベエル・シェバ

エジプト

ゴシエン

Sinai



ゴシエンの地

「太陽が輝いている場所」という意味

1. 神が備えられた場所

2. 神が養ってくださる場所

・・・どうか、急いで父上のところに上って行き
言ってください。

『息子のヨセフがこう言いました。

「神は私をエジプト全土の主とされました。

ためらうことなく私のところに下って来てください。
ゴジエンの地に住んで、私の近くに行ってください。

父上も、子と孫、羊と牛

また父上に属するすべてのものも。

飢饉は、あと5年続きますから

父上も家族も、また父上に属するすべてのものも
困ることのないように

私が父上をそこで養いましょう。』と。』

・・・ヨセフは、ファラオが命じたとおりに

父と兄弟たちの住まいを定め

彼らにエジプトの地で最も良い地

ラメセスの地に所有地を与えた。

またヨセフは

父と兄弟たちとその一族全員を

扶養すべき者の数に応じて、食物を与えて養った。

創世記 47章 1-2節

ヤコブの腰から生まれ出た者の総数は70名であった。ヨセフはすでにエジプトにいた。それから、ヨセフもその兄弟たちもまたその時代の人々もみな死んだ。

BC1885
ヨセフ宰相

← 360年 →

イスラエルの子らは、多くの子を生んで群れ広がり、増えて非常に強くなった。こうしてその地は彼らで満ちた。

BC1525
モーセ誕生

やがて

ヨセフのことを知らない新しい王がエジプトに起こった。

3.神の祝福が溢れている場所

ヤコブの腰から生まれ出た者の総数は
70名であった。ヨセフはすでにエジプトにいた。
それから、ヨセフもその兄弟たちも
またその時代の人々もみな死んだ。

BC1885
ヨセフ宰相

← 360年 →

イスラエルの子らは、多くの子を生んで
群れ広がり、増えて非常に強くなった。
こうしてその地は彼らで満ちた。

BC1525
モーセ誕生

やがて

ヨセフのことを知らない新しい王が
エジプトに起こった。

4. 神が護ってくださる安全な場所

・もしもあなたがわたしの民を行かせないなら
さあ、わたしは、あぶの群れを
あなたとあなたの家臣とあなたの民の中に
またあなたの家の中に放つ。

エジプトの家々も、彼らがいる土地も
あぶの群れで満ちる。

わたしはその日、わたしの民がとどまっている
ゴシエンの地を特別に扱い
そこには、あぶの群れがいないようにする。

それは、主であるわたしが
その地の真中にいることを
あなたが知るためである。

わたしは、わたしの民とあなたの民との間を
区別して、救いを置く。
あす、このしるしが起こる。』

雹は、エジプト全土にわたって
人をはじめ獣に至るまで
野にいるすべてのものを打ち

また野の草をみな打った。
野の木もことごとく打ち砕いた。

ただ
イスラエル人が住むゴジエンの地には
雹は降らなかった。

出エジプト 9章 25〜26節

エジプト全土は、3日間、真暗やみとなった。

3日間、だれも互いに見ることも

自分の場所から立つこともできなかった。

しかし、イスラエル人の住む所には、光があった。

出エジプト 9章 25 ～ 26節

見よ、あなたから遠く離れている者は滅びます。
あなたに背き不実を行う者を
あなたはみな滅ぼされます。

しかし

私にとって

神のみそばにすることが幸せです。

私は、神である主を私の避け所とし
あなたのすべてのみわざを語り告げます。

詩篇 75篇 27 ～ 28節

- ・神が、備えられた場所
- ・神が、養ってくださる場所
- ・神の祝福が、溢れている場所
- ・神が、護ってくださる安全な場所

Ⅱ. ヨセフ、ヤコブを王の前に導く

7～12節

それから、ヨセフは父ヤコブを連れて来て
ファラオの前に立たせた。

ヤコブは、ファラオを**祝福**した。

ファラオは、ヤコブに尋ねた。

「あなたの生きてきた年月は
どれほどになりますか。」

ヤコブは、ファラオに答えた。

「私がたどってきた年月は、130年です。
私の生きてきた年月はわずかで
いろいろなわざわいがあり
私の先祖がたどった日々
生きた年月には及びません。」

ヤコブは、ファラオを祝福し

ファラオの前から立ち去った。

ヨセフは、ファラオが命じたとおりに

父と兄弟たちの住まいを定め

彼らにエジプトの地で最も良い地

ラメセスの地に所有地を与えた。

またヨセフは

父と兄弟たちとその一族全員を

扶養すべき者の数に応じて、食物を与えて養った。

為政者を覚えて祈る(祝福する)

すべての人のために
また王と

すべての高い地位にある人たちのために
願い、祈り、とりなし、感謝が
ささげられるようにしなさい。

それは、私たちが敬虔に
また、威厳をもって

平安で静かな一生を過ごすためです。

そうすることは

私たちの救い主である神の御前において
良いことであり、喜ばれることなのです。

それから、ヨセフは父ヤコブを連れて来て
ファラオの前に立たせた。

ヤコブは、ファラオを祝福した。

ファラオは、ヤコブに尋ねた。

「あなたの生きてきた年月は
どれほどになりますか。」

ヤコブは、ファラオに答えた。

「私がたどってきた年月は、130年です。
私の生きてきた年月はわずかで
いろいろなわざわいがあり
私の先祖がたどった日々
生きた年月には及びません。」

彼（ヤコブ）は、ヨセフを祝福して言った。

「私の先祖アブラハムとイサクが
その御前に歩んだ神よ。

今日のこの日まで

ずっと私の羊飼いであられた神よ。

すべてのわざわいから私を贖われた御使いが
この子どもたちを祝福してくださいように。

私の名が先祖アブラハムとイサクの名とともに
彼らのうちに受け継がれますように。

また

彼らが地のただ中で豊かに増えますように。」

Ⅲ. ヨセフ、知恵をもって国を治める

13～26節

第1： 穀物をエジプト人・イスラエル人に売り、
銀を王の家に納めた。

第1： 穀物をエジプト人・イスラエル人に売り、
銀を王の家に納めた。

第2： 銀が尽きると、彼らの家畜と引き換えに、
穀物を売った。

エジプトの地とカナンの地に銀が尽きたとき
エジプト人はみなヨセフのところに来て言った。

「私たちに食物を下さい。銀が尽きたからといって
どうして私たちがあなた様の前で
死んでよいでしょうか。」

ヨセフは言った。

「おまえたちの家畜を差し出さない。
銀が尽きたのなら、家畜と引き替えに与えよ
う。」

人々がヨセフのところ到家畜を引いて来たので
ヨセフは、馬、羊の群れ、牛の群れ、ろばと引き替え
に彼らに食物を与えた。

こうして彼はその年
すべての家畜と引き替えに
彼らに食物を分け与えた。

第1： 穀物をエジプト人・イスラエル人に売り、
銀を王の家に納めた。

第2： 銀が尽きると、彼らの家畜と引き換えに、
穀物を売った。

第3： 家畜が尽きると、彼ら自身(からだ)&農地と
引き換えに、穀物を売ってれるよう申し出た。

やがてその年も終わり、

次の年にも人々はヨセフのところに来て言った。

「私たちは、あなた様に何も隠しません。

銀も尽き

家畜の群れもあなた様のものになったので
自分のからだも土地のほかには
あなた様の前に何も残っておりません。

どうして私たちが、土地と一緒にあなた様の前で
死んでよいでしょうか。

食物と引き替えに

私たちと私たちの土地を買い取ってください。

私たちは土地と一緒にファラオの奴隷となります。

どうか種を下さい。

そうすれば私たちは生き延び、死なずにすみませす。
土地も荒れないでしょう。」

・・・収穫の時になったら

その**5分の1**は、**ファラオに納め**

五分の四は自分のものとしなさい。

畑の種にするため、自分の食糧にするため
家の者のため、また扶養すべき者たちの食糧の
ために、そうしなさい。」

すると彼らは言った。

「あなた様は私たちを生かしてくださいました。

私たちは、あなた様のご好意を受けて

ファラオの奴隷となりました。」

ヨセフは、エジプトの土地について

5分の1は、**ファラオのもの**としなければならぬ
という、一つの掟を定めた。

それは今日にまで及んでいる。

10分の1の献げ物

アブラハム、メルキゼデクに、十分の一を献げる

・・・シヤレムの王メルキゼデクはパンとぶどう酒を持って来た。

彼はいと高き神の祭司であった。

彼はアブラムを祝福して言った。

「祝福を受けよ。アブラム。

天と地を造られた方、いと高き神より。

あなたの手に、あなたの敵を渡された

いと高き神に、誉れあれ。」

アブラムは、すべての物の十分の一を彼に与えた。

ヤコブ、神に、十分の一を献げる約束をする

…ヤコブは、誓願を立てて言った。

「神が私とともにおられ

私が行くこの旅路で

私を守ってください

私に食べるパンと着る着物を賜わり

私が無事に父の家に帰ることができ

主が私の神となってくださいるので

私が石の柱として立てたこの石は神の家となり

すべてあなたが私に賜わる物の十分の一を

私は必ずあなたにささげます。」

地の産物の、十分の一を、神に献げる

：：：こうして地の十分の一は
地の産物であっても、木の実であっても
みな主のものである。
それは主の聖なるものである。

レビ記 27章

：：あなたが種を蒔いて
畑から得るすべての収穫の十分の一を
必ず毎年ささげなければならぬ。

申命記 14章

神の民が、神のものを盗む

：人は神のものを盗むことができようか。
ところが、あなたがたはわたしのものを盗んでいる。
しかも、あなたがたは言う。

『どのようにして

私たちはあなたのものを盗んだでしょうか。』

それは、**十分の一**と奉納物によってである。

あなたがたはのろいを受けている。

あなたがたは、わたしのものを盗んでいる。

この民全体が盗んでいる。

十分の一をことごとく

宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。

IV. ヨセフ、ヤコブに約束する

27～31節

さて、イスラエルはエジプトの国で
ゴシエンの地に住んだ。

彼らはそこに所有地を得て

多くの子を生み、大いに数を増やした。

ヤコブはエジプトの地で、**17年**生きた。

ヤコブが生きた年月は、**147年**であった。

イスラエルに、死ぬ日が近づいたとき

彼はその子ヨセフを呼び寄せて言った。

「もしおまえの心になうなら

おまえの手を私のももの下に入れ

私に愛と真実を尽くしてくれ。

私をエジプトの地には葬らないでほしい。

私が先祖とともに眠りについたら

エジプトから運び出して、先祖の墓に葬ってくれ。」

ヨセフは、言った。

「必ずあなたの言われたとおりにいたします。」

イスラエルは言った。「私に誓ってくれ。」

ヨセフは、彼に誓った。

イスラエルは寝床の枕もとで、ひれ伏した。

人の生死は、神の御手の内にある。

メメント・モリ

「自分が(いつか)必ず死ぬことを忘れるな」

「死を忘ることなかれ」

死期が迫っていることを、示されているヤコブ

イスラエルに、死ぬ日が近づいたとき、

彼はその子ヨセフを呼び寄せて言った。

「もしおまえの心になうなら

おまえの手を私のももの下に入れ

私に愛と真実を尽くしてくれ。

私をエジプトの地には葬らないでほしい。

私が先祖とともに眠りについたら

エジプトから運び出して、先祖の墓に葬ってくれ。」

ヨセフは、言った。

「必ずあなたの言われたとおりいたします。」

イスラエルは言った。「私に誓ってくれ。」

ヨセフは、彼に誓った。

イスラエルは寝床の枕もとで、ひれ伏した。

死期が迫っていることを、示されている。ペテロ

……このようにして、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの永遠の御国に入る恵みを豊かに与えられるのです。

ですから、あなたがたがこれらのことをすでに知り与えられた真理に堅く立っているとはいえず、私はあなたがたに

それをいつも思い起こさせるつもりです。

それを思い起こさせて、あなたがたを奮い立たせることを、私は地上の幕屋にいるかぎりなすべきだと思っています。

私たちの主イエス・キリストが示してくださいましたように、私はこの幕屋を間もなく脱ぎ捨てることを知っています。

ですから、ぜひとも、私が去った後いつでもあなたがたがこれらのことを思い起こせるようにしておきたいのです。

死期が迫っていることを、示されている。パウロ

私はすでに注ぎのささげ物となっています。

私が世を去る時が来ました。

私は勇敢に戦い抜き

走るべき道のりを走り終え

信仰を守り通しました。

あとは

義の栄冠が私のために用意されているだけです。

その日には、正しいさばき主である主が

それを私に授けてくださいます。

私だけでなく、主の現れを慕い求めている人には
だれにでも授けてくださるのです。

自身の死を覚えて、具体的な備えをする。

長野政雄兄の遺書

余が永眠せしときハ

恐縮ながら此袋の中に認めある通り宜しく願上候

愛兄弟各位

頓首

政雄

火葬となし可及的虚礼の儀式を廃し

之に対する時間と費用とは最も経済的たるを要す
湯棺の如き無益なり廃すべし

履歴の朗読儀式的所感の如き之を廃する事

家族親族を待たずして

二十四時間を経ば葬られたし

余が大罪はイエス君にあがなはれたり

諸兄姉よ

余の罪の大小となくすべてを免されんことを

余ハ感謝してすべてを神に献ぐ

諸兄姉よ余をして一層感謝すべく祈り給はんことを

我が家の歴史其他余が筆書せしもの
及信書ハ之を焼棄の事

余ハ諸兄姉が余の永眠によりて天父に近づき

感謝の真義を味ははれんことを祈る

苦楽生死均く感謝なり

本日のすすめ

1. 神のみこころの内に留まりましょう。
2. 為政者を祈りに覚えましょう。
3. 献げることにおいて、忠実でありましょう。
4. 自身の生死について、備えましょう。